

保育・教育目標

本園は、園児の健全な成長 発達をはかることを目的としている。
遊び、行事を通した様々な体験、音楽、科学、英語、体操教室など情操教育や自然と触れ合う保育を行っている。友だちや保育教諭との関わりの中から、社会性を学び、生きるための知識や感性を獲得していくことを考える。

- ・基本的な生活習慣を身に着につけ、健康な心を育てる。
- ・自主、自立の精神の芽生えを培う。
- ・身近な自然に対する興味や関心をもち、豊かな感性を育てる。

保育の計画
【目標】 ○一人ひとりの個性や興味関心を把握し、遊びの環境を設定する。 ○振り返りを大切にし、継続性のある計画を立てる。 ○保育室を清潔に保つ。
【できたこと】 ○子どもたちが興味関心をもったことを大切に、失敗しても諦めない心が育つように心がけた。 ○子どもたちの遊びや生活における進め方を話し合いながらクラス運営をすることができた。
【反省】 ○子どものやる気を引き出す言葉がけをもっとできるように、また子どもの姿を話し合う機会が継続できるようにしていく。 ○子ども同士のトラブルは年齢やその場の状況を把握して学びの機会とし「待つ・見守り」互いに考えることを保育者間で共有していく。

子どもへの対応
【目標】 ○一人ひとりの良さを認め、ありのままの姿を受け止める。 ○子どもたちの話をよく聞き、一人ひとりを理解しようと意識しながら関わる。 ○体調変化や小さなサインにも気づけるようにする。
【できたこと】 ○子どもたちの健康に関して視診、触診、検温など園全体で取り組み。小さな変化にも気づくことができた。 ○子どもたちが興味をもったことは、繰り返し継続して保育者もいっしょに楽しむことができた。
【反省】 ○一対一で関わる時間をできる限り増やし、研修に参加して学んだ声掛けなど保育に生かせられるようにしていきたい。 ○子どもたちの安全な動線を考えた環境について再度検討していく。

<p>保育者としての資質</p>
<p>【目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○向上心を持ち子どもの最善の利益を考えた保育を心がけ、他保育者と思いを共有する。 ○専門職としての意識を持ち、常に向上できるよう学びを吸収していく。(研修参加) ○保育者としての振る舞いや言葉遣いで活動・生活をする。
<p>【できたこと】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○担当クラスだけではなく、他のクラスの子どもたちにも目を向け声掛けができた。 ○子どもたちが楽しめるような保育を話し合うことによって、アイデアを出し合うことができた。
<p>【反省】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○職員会だけでなく、学年また以上児・未満児として対話の機会を増やせる場を検討する。 ○日々の生活・保育に疑問をもったりして見直しに役立てていきたい。

<p>保護者への対応</p>
<p>【目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○子どもの成長を共に喜び、寄り添える存在となれるように努める。 ○日々の子どもの様子を伝え、家庭での悩みなども連携をとって解決に努める。
<p>【できたこと】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○その日にあった出来事を保護者に伝えつつ家庭での様子などを聞く。また、その後の様子を伝えるようにした。 ○懇談会では保護者の思いや疑問を話し合うことができ、いっしょに解決法を考える時間となった。
<p>【反省】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○同じ対応ができるように職員間で伝達を丁寧に行うことが大切である。 ○言葉遣いに気をつけるよう意識していたが、ふとした時にフランクな話し方になっていたことがあった。

【全体として】

保育士としての資質向上に対する考え、保育士としての役割については意識しながら保育・教育はできていると考えられる。反省については、保育者間で声を出し安心・安全な環境はアップデートし、改善点があれば改善していく意識を高め合うことが大切である。

【スクールバスの現状】

出発前のバスチェック、アルコールチェックの徹底において運行。現状ではバス利用が少なくなっているが利用人数に関係なく運転手・添乗職員との連携を保ち園児の安全・乗降確認の徹底に努める。社会的にバス事故の報道があるが、他人事と思わず安全を徹底する。